

ロシア・東欧学会

The Japanese Association for Russian and East European Studies

Newsletter No. 13

2006年度大会 (11/18-19 於青山学院大学) は JSSEES と共催

すでに Newsletter No. 12 でお知らせしたように、ロシア・東欧学会 2006 年度 (第 35 回) 大会は、2006 年 11 月 18 日 (土)・19 日 (日) の両日、東京の青山学院大学で開催されることになっています。今大会は、Japanese Society for Slavic and East European Studies (JSSEES) との共催となりました。久々の東京での開催でもあり、会員諸氏多数の参加が期待されます。なお、プログラムは以下の通りです。

2006 年度ロシア・東欧学会/JSSEES 合同研究大会プログラム

11 月 18 日 (土) 共通論題

「ロシア・東欧地域にはたらく遠心力と求心力」

9:30-9:40 開会の辞：袴田 茂樹・代表理事
挨拶：武藤 元昭・青山学院大学学長

9:40-11:00 「東欧」の解体
司会：小山 洋司 (新潟大学)
報告：月村 太郎 (神戸大学)
討論：月出 皎司 (日本財団)
廣瀬 陽子 (東京外国語大学)

11:00-12:20 パイプラインの影響
司会：杉本 侃
報告：渥美 正洋 (世界平和研究所)
討論：中津 孝司 (大阪商業大学)
藤森 信吉 (北海道大学)

12:20-12:30 総会

12:30-14:00 昼休み

12:45-13:45 理事会

14:00-15:30 1956 年問題の再検討 - 東欧と東アジアにおけるスターリン批判の影響
司会：木村 汎 (拓殖大学)

報告：下斗米 伸夫 (法政大学)

討論：石井 明 (東京大学)

羽場 久美子 (法政大学)

15:30-17:00 総合討論

司会：伊東孝之 (早稲田大学)

17:00-18:00 総会

18:30-20:30 懇親会

11 月 19 日 (日) 自由論題

I. 東欧政治セッション

司会：家本 博一 (名古屋学院大学)

9:30-10:10 東独脱出運動とハーシュマン理論

報告：青木 國彦 (東北大学)

討論：大塚 昌克 (早稲田大学)

10:10-10:50 ポーランド・クラクフ市における社会言語学的調査の実施報告

報告：白山 利信 (筑波大学)

討論：沼野 充義 (東京大学)

10:50-11:30 チェコ共和国における「緑の党」の進出

報告：坪井 宏平 (東北大学・院)

討論：中田 瑞穂 (立教大学)

11:30-12:10 1867 年のモスクワ・スラブ会議

報告：川村 清夫 (湘南工科大学)

討論：石川 達夫 (神戸大学)

II. ロシア政治セッション

司会：上野 俊彦 (上智大学)

9:30-10:10 タタルスタン共和国における

ジェンダーの現状について

報告：五十嵐 徳子 (天理大学)

討論：関 啓子 (一橋大学)

10:10-10:50 ロシア史における「イエズズ会」

報告：小野田 悦子 (北海道大学・院)

討論：廣岡 正久 (京都産業大学)

10:50-11:30 ウクライナのカラー民主革命をめく

	る考察 報告：石郷岡 健（日本大学） 討論：未定
11:30-12:10	キルギス共和国における政治エリートと民族関係 報告：中西 健（日本大学・院） 討論：湯浅 剛（防衛研究所）
III. 経済セッション	
	司会：左治木 吾郎（東京国際大学）
9:30-10:10	CIS 域内経済統合の現状と今後 報告：金野 雄五（北海道大学・院） 討論：上垣 彰（西南学院大学）
10:10-10:50	日ロ経済関係の促進を抑制した諸要因 報告：杉本 侃（元日本経団連） 討論：宮本 勝浩（大阪府立大学）
10:50-11:30	Energy Politics in Japanese-Soviet Relations in the 1970s 報告：Svetlana Vassiliouk（法政大・非） 討論：中津 孝司（大阪商業大学）
IV. JSSEES セッション	
	司会：藤本 和貴夫（大阪経済法科大）
9:30-10:10	植物学者マクシモヴィッチにみるロシア人の自然観 報告：竹中 梨紗（京都大学・院） 討論：未定
10:10-10:50	「政治的神話」と国民の紛争心理の形成 - 「北方領土」問題を事例研究として - 報告：大崎 巖（立命館大学・院） 討論：木村 汎（拓殖大学）
10:50-11:30	Роль и место прецедентных феноменов из кинофильмов в ментальной картине мира россиян 報告：T. B. Смирнова（天理大学） 討論：V.カサケーヴィチ（富山大学）
11:30-12:10	旧ソ連の遺産学をめぐる学術情報の受容過程 報告：斎藤 宏文（東京工業大学・院） 討論：未定
12:10-14:30	昼休み

14:30-17:00	シンポジウム「旧ソ連地域におけるロシア語の位置」 司会：塩川 伸明（東京大学） 「バルト」 報告：小森 宏美（京都大学） 「カフカス」 報告：北川 誠一（東北大学） 「バルカン諸国におけるロシア語の位置」 報告：三谷 恵子（京都大学） 「旧ソ連地域」 報告：ドミトリー・エフスタフィエフ（サンクトペテルブルク大学） 「中央アジア」 報告：ティムール・ダダバエフ（東京大学） 討論：塩川 伸明（東京大学） 荒井 幸康（北海道大学）
17:00	閉会の辞：木村 崇 JSSEES 理事長

2006 年度第 1 回理事会開催

2006 年 6 月 18 日（日）、法政大学市ヶ谷キャンパスで 2006 年度第 1 回理事会が開催されました。袴田茂樹代表理事の挨拶のあと、理事会では以下の報告および審議が行われました。

1. 報告事項

(1) 香川敏幸会誌編集委員長より、『ロシア・東欧研究』34 号が発行されたこと、多くの執筆者があり、文化関係も含めて充実した号となったことが報告されました。

(2) 羽場久美子事務局長より、2005 年度決算、2006 年度予算について報告がなされました（表 1）。中でも 会員が 420 名となり、活発な活動が展開され予算枠が広がったこと、会誌が例年の半年の遅れを是正しほぼ年度内に刊行できたこと、繰越金が増えたが、うち 100 万円は 2 冊目の雑誌分であること、2006 年度は会員への還元を重視し、大会や研究会への予算配分増も考えていきたいこと、などの報告がなされました。

（以下、4 頁に続く）

表1 2005年度決算および2006年度予算案

	2005年度予算	2005年度決算	2006年度予算案
収入の部			
前年度繰越金	2,034,709	2,034,709	3,545,867
会費（注1）	2,800,000	3,601,000	3,040,000
個人	2,650,000	3,291,000	2,890,000
正会員	2,450,000	3,041,000	2,650,000
院生会員	200,000	250,000	240,000
団体	150,000	310,000	150,000
維持会費	24,000	8,000	20,000
寄付	200,000	32,140	50,000
利息	30	13	30
雑収入	10,000	49,000	20,000
収入小計	3,034,030	3,690,153	3,130,030
総計	5,068,739	5,724,862	6,130,030
支出の部			
大会費	300,000	227,600	300,000
年報発行費（注2）	1,300,000	893,542	2,100,000
年報印刷費	1,200,000	877,437	2,000,000
ニューズレター印刷費	100,000	16,105	100,000
年報発行編集費	0	0	0
事業費（注3）	40,000	30,000	40,000
学会会議費用	40,000	0	40,000
事務局費（事務、謝礼）	300,000	361,230	300,000
事務用品・コピー代	80,000	27,261	80,000
会議費補助	620,000	452,910	620,000
選挙管理費	0	0	100,000
会員名簿印刷代	50,000	39,165	50,000
通信・発送費	160,000	120,570	160,000
利息・手数料料金（注4）	40,000	26,717	40,000
予備費（注5）	200,000	0	200,000
支出小計	3,130,000	2,178,995	4,030,000
繰越金	1,938,739	3,545,867	2,100,030
総計	5,068,739	5,724,862	6,130,030

（注1）2006年度予算の会費額は、2005年度の納入状況より、会員総数412名のうち、正会員（331名）80%、院生会員（69名）70%、法人会員（6団体）60%、名誉会員（6名）で試算。今年の会費納入率は、現状では、正会員（331名）81%、院生会員（69名）65%、法人会員（6団体）50%

（注2）年報発行費は、まる1年の遅れに対して、今年度、2冊を刊行して年度をあわせた。そのため2006年度は2年分を計上した。

（注3）事業費は、JCREES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）および地域連絡協議会の負担金。

（注4）利息・手数料は、事務局費に含まれる銀行手数料を郵便振替払い込み料金と合わせたもの。

（注5）予備費は、大会開催に施設使用料が必要な場合の支出。

表2 新入会員

	氏名	所属	専攻	推薦者	
1	井出 慶太郎	グラスゴー大学大学院	国際政治における中国研究	袴田 茂樹	羽場久美子
2	稲田 恵美子	上智大学大学院	現代ロシアの内政	上野 俊彦	宇多 文雄
3	佐藤 裕子	法政大学非常勤講師	ロシア文学	羽場久美子	吉田 衆一
4	久木 裕子	大阪大学大学院	社会言語学, ウラハの言語政策	五十嵐 徳子	藤本 和貴夫
5	中馬 瑞貴	慶應義塾大学大学院	ロシア語, ロシア地域研究	上野 俊彦	横手 慎二
6	角崎 利夫	国際開発高等教育機構	旧ソ連地域国際関係・外交	斎藤 元秀	袴田 茂樹
7	S. ミロガフ	愛知県立大学	ロシアにおける仏教の発展	袴田 茂樹	羽場久美子
8	山本 靖子	国際協力機構	ベラルーシの言語政策	P. ポダロ	村田 真一
9	S. ガリシューク	法政大学大学院	ロシアと日本の会話と文化交流	下斗米 伸夫	羽場久美子
10	渥美 正洋	世界平和研究所	ロシアにおけるエネルギー戦略	木村 汎	袴田 茂樹

(注) 推薦者2名の氏名は五十音順.

他方, 法人会費5万円が法人会員を圧迫して, 法人会員の退会者が出てきているため, 検討の必要があること, 会費納入状況については, 3年連続の未納者が6名おり, 支払いをお願いの上, 既定に従い処理すること, 新入会員10名, 退会会員5名, 逝去会員1名, など, 検討課題についての指摘も行われました(表2).

(3) 袴田茂樹代表理事より, 11月18, 19日, 青山学院大学(渋谷)にて開催する2006年度大会について報告がなされました

(4) 左木木選挙管理委員長より, 2006年度理事選挙について, 2006年5月の連休中に理事選挙投票用紙を2005年度会費納入者に向け発送し, 6月18日(理事会当日)に開票を実施したこと, 上位20名が確定されたことが報告されました. 今後, 11月の大会で, 選挙により選出された新理事20名の会合において残りの20名の理事を選出し, 新理事会を発足させ, 新代表理事を選出する予定との報告がなされました. なお, 袴田茂樹代表理事より, 現行理事による理事会は, 本日(6月18日)が最後となること, 選挙により選出された新理事20名の会合は, 11月17日(金)夕方に召集されることが報告されました.

(5) 袴田茂樹代表理事より, ロシア・東欧学会の名称変更の検討について, 海外の関連学会の名称の調査を稲垣文昭会員に委嘱すること, 名称変更についての

検討は5年くらいをメドに次期理事会においても継続されることが期待される旨, 報告されました.

(6) 羽場久美子事務局長より, 会誌バックナンバーの保管・配布について, 古いものは必要な方に大会などで無料配布の可能性を検討中であること, バックナンバーは主要大学(74校)図書館に発送する予定であり, さらに必要な大学を出していただきたいとの報告がなされました.

2. 審議事項

(1) 2005年決算および2006年度予算の理事会案が審議され, 承認されました. 法人会費については, 1口2万円とし, 何口でも可, とすることが承認されました.

(2) 伊東孝之大会企画委員長より, 2006年度年次大会(青山学院大学)共通論題決定に関連する経過説明のあと, 共通論題を「ロシア・東欧の求心力と遠心力」とすることが決定されました.

(3) 羽場久美子事務局長より, 自由論題報告希望者が11名あったことが報告され, 自由論題プログラムの司会者・討論者(候補)が確定されました.

(4) 会誌寄贈先大学74校が承認され, さらなる追加についても議論了承されました.

(5) 新入会員, 退会会員について承認されました.

(6) 2007年度大会開催校については, 名古屋学院大学(家本博一理事), 愛知淑徳大学(皆川修吾理事), 大阪経済法科大学(藤本和貴夫副代表理事), 天理

大学（五十嵐徳子理事），大阪産業大学（大津定美理事），新潟国際情報大学（小澤治子理事），新潟大学（小山洋司理事），大阪商業大学（中津孝司理事），広島大学（岩田賢司理事）などの候補が出され，関連大学の理事と代表理事のあいだで大会までに候補地を絞り込んで行くことが決定されました。

『ロシア・東欧研究』第 35 号投稿 申込受付・原稿提出について

投稿希望者は，次の要領で会誌編集委員会宛 E-Mail にてお申込みください。大会での共通論題，自由論題の報告者の方も，ご投稿を宜しくお願いいたします。

投稿希望者申込締切：

2006 年 9 月 16 日（土）22：00 まで

申込事項：

(1) 氏名（ふりがな，およびローマ字表記），所属，職名（大学院生の場合は課程，学年など），

(2) 住所

(3) E-mail アドレス，Fax，電話

(4) 論文・書評などの種別

(5) 論文のタイトル

(6) 研究分野，地域，およびキーワード

原稿締切：

2006 年 11 月 30 日（木）

なお，投稿規程ならびに執筆要領については，『ロシア・東欧研究』第 34 号（2005 年版）をご参照ください。大会の報告者については，別途ご連絡いたします。以上，ご投稿をお待ちしております。

投稿申込・問い合わせ先

ロシア・東欧学会会誌編集委員会

〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

総合政策学部・香川敏幸研究室(505)気付

Tel/Fax (0466)49-3491

E-mail<kgw@sfc.keio.ac.jp>

URL<<http://www.sfc.keio.ac.jp/~kgw>>

ロシア・東欧学会事務局より

今年度大会も優れた大会テーマ，意欲的自由論題が揃いました。今年の大会は，袴田茂樹代表理事始め執行部，木村崇 JSSEES 理事長および両理事会での話し

合いにより合同開催が決定されました。

数多いロシア・東欧関係の学会の共同行動のさきがけとして，今後も共同・共催の試みがなされていくことが予想されます。会員の皆様のご理解とご協力を，どうぞ宜しくお願いいたします。

学会は皆様の会費で運営されております。2006 年度年会費のお支払いを宜しくお願い致します。2005 年度までの年会費未納の方は，それまでの会費も合わせてお支払い下さい。年会費は，一般会員 10,000 円，院生会員 5,000 円，郵便振込口座は，00150-8-0177731です。ご協力を宜しくお願いいたします。

事務局のメールアドレスが変更になりました。登録のご変更を宜しくお願い致します。（前アドレスは 10 月に停止となります）

ロシア・東欧学会事務局

〒102-8160

東京都千代田区富士見町 2-17-2

法政大学市ヶ谷校舎

ポアソナード・タワー16 階

羽場久美子研究室気付

E-mail: jarees_office@yahoo.co.jp

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/roto/index.html>

Newsletter および HP 作成担当：上野 俊彦